(一) 昭和32年2月5日 (火曜日) 第2027号 常磐毎日新聞 (昭和31年1月22日 第三種郵便物認可) 夕刊 (日曜、祭日 休刊)

常磐毎日

発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
営業部専用1210
編集部 1269

呉服 御婚礼
京呉服 ふとん
服地 豊富取揃え
佐川呉服店
平市五丁目 電1486

市営バス 五市の足並み揃うか 協議會九日ころに予定

懸案の常磐地区五市共同バスの運行問題は、平市を除く四市の特別委員の一行がそれぞれ独自の立場から先進都市の運行情況を視察した結果を持ちより、さきに平市が四市に提出した運行計画と比較検討、基本計画を打ち出すとともに今後の運動の進め方などを協議することになつていたが、九日ころ今年初の五市委員会を招集することになつた。この五市委員会は去る一月末日ころ開く予定のところ内郷市の議員が「内郷砿の廃止と町の将来」という大問題と突き当り突然九州地区の視察に向つたことから延期されていたものであるが、この協議会では五市の足並みが揃えば一挙に事務組合の結成まで進められる見通しもあり、市営バスに対抗する「無軌道電車案」などを発表した常磐市などがどのような態度でのぞむかは関心深いものがある。なおこの協議会で五市の足並みが揃い、基本線が打ち出されると市営バスは今年中に相当具体化するものとみられ成行きが注目されている。

新郎には最悪の日 十四日 豊間の水かけ祭り

今年結婚した新郎たちを旧正の十五日、部落の守り神「愛たご神社」の前にあつめて寒中頭から冷水を浴せるという平市沼ノ内の奇習「水かけ祭」は十五日部落の壮男壮女が多数集まつて行われる。

この水かけ祭は沼ノ内部落が例年旧正十五日に火ぶせ祈願のため行うもので、祭りは先ず部落の古老漁業組合長、青年団長らがこの日水を浴せられる新郎たちを前にしてメデタやお祝酒を振舞つたのちゆかた一枚裸足に草履ばきの新郎たちを愛たご神社に設けられた九尺四方の「神事場」に立たせ、四方に控える部落の青年四人が「バカムコ」の歌に合せながら大きな桶で冷水を浴せる。この冷水浴せは三回行われ、うち二回目までは神事場内から逃げられるが、三回目は逃げることが出来ず頭から水をかけられることになつている。この水かけが終ると部落の青年二名が七夕飾のようなタンザクを一杯付けた竹をかついで、愛たご神社から約四丁離れた諏訪神社に参詣するが、部落民や青年団員がこの帰りを待伏せてタンザクをつけた笹竹をもぎとつてしまう。これを家に持ち帰れば魔よけになると伝えられている。

なおこの奇習は今から約六百年前から続くものと伝えられているものであるが、昭和十二、三年ころ世の批判のため一事中止したところ、その翌年二度続いて同部落に大火が起つたことから再び火伏せの行事として再開されるようになつたものである

湯本三小を表彰

常磐市湯本第二小学校が昨年一月からはじめ児童貯金は十一月には百万円を突破するという驚異的好成績をあげ常磐郵便局でもヒドク感激し二日助川局長が感謝状に記念品として花瓶を贈つた。

更に負担金を削減 石城市町村協で要望

赤字財政のあおりで各市町村はまらに国保団体連合会など十三団体すます苦しくなるのを防ごうと石の寄附、負担金を大市にケズつほか、石城郡内にある自治振興会城地方市町村協議会では義務費以など四十三団体には負担金をしな外の負担を極力減らそうと、さきいことを決定したが、この対象外に国で決めた地方財政再建促進特となる土地改良指導所などの負担別措置法によつて税務署など国の金も昨年の三割で進むよう平市な九機関、土木事務所など県の十三ど五市と七町村に要望、建金財政機関の寄附金、負担金を全廃、さを計ることになつた。各市町村の負担金要望は次の通り（単位円）

▽平市①消防協会平支部一四八四七四、③土地改良石城支部三四七九、④平地区農業改良指導所一八二、五〇五、⑨森林振興協議会四六、〇〇〇、⑪財務協会二、五〇〇、⑫教育委員会六六、二七一、

▽磐城市①九九、九〇二、③二四六九、⑤磐城農業改良指導所一三八、七六〇、⑨四四、〇〇〇、⑩一四五、一一八、⑪二、五〇〇、⑫五二、二四七

▽常磐市①六七、一二一、③九六二、⑤一五一、二四〇、⑨三〇、〇〇〇、⑩四三、一九七、⑪二、五〇〇、⑫四四、二一三

▽内郷市①六〇、五三六、③六一九、④二三、二四五、⑨二四二、⑩二一、三一四、⑪二、五〇〇、⑫九、七三九

▽勿来市②消防協会勿来支部三四、八三〇、⑥二、五二七、⑥勿来地区農業改良指導所一七三二五、⑨四九、〇〇〇、⑪一四八、七八三、⑪二、五〇〇、⑫四九、六二〇、

▽遠野町②九二、九四四、③一一七八、⑥五四、二六二、⑨五六、〇〇〇、⑩五八、六九九、⑪二、〇〇〇、⑫一六、一六四

▽四倉町①四九、二七四、③一一四八、⑧四倉地区農業改良指導所九四、二一〇、⑨二六、〇〇〇、⑩二三、四六九、⑪二、〇〇〇、⑫七七、五五一、

▽小川町①二一、九〇八③五四三、⑧八五、七九〇⑥二七、〇〇〇⑩四六、〇二一⑪二、〇〇〇⑫一四、七〇四

▽田人村②六〇、二〇八③七二一⑨五八、〇〇〇⑩一八、二三一⑦二五、〇〇〇⑨四〇、〇〇〇⑩二六、三三三⑪一、五〇〇⑫九、七三九

▽好間村①四〇、三一四③六九二四、⑤一、二四〇、⑥二、三一四、⑦一、五〇〇、⑧一、二四〇、⑨一、二四〇、⑩一、二四〇、⑪一、二四〇、⑫一、二四〇

百人前も働らく 平市 謄本複寫機を購入

平市市民課では事務の能率を上げる一方、市民にサービスをしようと、いままで次の日でなければ出来上らなかつた戸籍謄本などを煙草一服吸つている間に全部写し終るというコツピー機を近く備えつけオートメーション化をはかることになつた。

市民課ではなれた人で妙本一枚に二十分、謄本になると次の日でなければ出来ない一日平均三十枚出来れば上々となつている、このため急ぎの人にはとても間に合わず市民に不便をかけていたが、近く開く予算議会にかけて来年にはスイツチ一つで十秒から四十秒で一枚写せるという復写機をとり入れてサービスをはかることになつた

この機械は昨年常磐市役所で購入、市民の好評を受けているコツピー機をはるかにしのぐ最新式のもので、これによると職員が八時間フルに働いて、作つた書類をボタン一つで自動的に十分間以内で簡単に一日分の仕事が出事るほか、紙の種類もとわず寫真で復写するので誤字が絶対ないという精巧なもの、その上値段は十四万円から十六万円前後でコツピー機一台で有に謄本作製なら百人力のあるもの

持地さん寄附

平市佃町持地孝美氏は亡父市之助の遺志により四日市福祉事務所に二千円を寄贈した。

福わ内会寄附

平市福わ内会では四日市厚生事務所を訪れ、二千円を養老園にと寄贈した。

社告

配達員の区域変更がありましたので遅欠配が御座いましたらどしく電話なりで御報下さるようお願い致します。

おわび

本紙四日付二面の映画広告中「繞銀河の都」と「龍虎の決戦」の世界館の広告に五日よりとあるは六日よりの誤りにつき訂正致します。

全快近い時津山 後援会役員ら見舞う

相撲の神様とまで称される栃錦などをほうり金星をあげた時津山は初場所なかば対成山の一戦で右腰をいため惜くも休場、次期三月大阪場所を目指して治療をしているが、心配した地元後援会、ファンらを代表して岡田後援会長らが見舞にいつたところ、現在千代の山朝しお、松登など治療してる東京都お茶の水義徳診療所で受けた電気療法とオゾン注射の経過が良く快方に向い十日ころには地方巡業に出られるほど快復したと後援会を通じて地元後援に感謝の言葉をのべた。

「前半は調子が良かつたが、成山関の取組ごろから左ひざに水がたまり調子が下つた、そのまゝ休場すればよかつたが無理をしたのが悪く休場したが、幸いオゾン注射と電気治療が良く効いて十日には地方巡業に行けるまでになつた、これから調子を除々にもどして大阪場所にがん張つてファの皆様のご期待にそいたいと思います」

家具のあるが 平銀座店電三三 平四丁目店

磐城消防の旧正出初式

磐城市消防団の旧正出初め式はきよう五日午前六時から挙行されたこの日各分団ごとに分れて団長からの訓示のあと市内の各家庭のカマド検査などを実施した。

鈴木ミシン商会 平市五丁目電一〇九八

業務所移転お知らせ

仮事務所を常盤銀行二階に置いておりましたが、二月四日より左記事務所に於て業務の取扱いをしましたからお知らせ旁々御挨拶申上げます

昭和三十二年二月五日

東部石炭協会

移転先 平市菱川町二七 平商工会館内 電話(平)一二一〇二番

舊正初売盛況御礼

福引をしない大黒屋が全力を集中して総額五〇〇万円原価率仕品を驚異的お値段にて4日間にわたり堂々発表して提供いたしました。旧正初売出しは皆様の絶大なる御支援により早朝から続々とお買上げを賜わり盛況のうちに終了させて頂きました。厚く厚く御礼申上げます。

当日は店頭。店内大変混雑いたしまして不行届の点もあり今後共変らざる御支援の程御願い申上げます。

社長 馬目勝次郎 以下 従業員一同

皆様の利益を謀る店

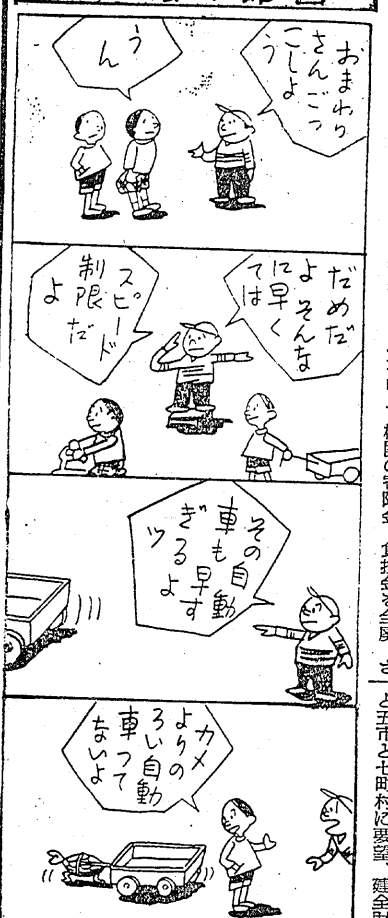
大黒屋

平本店 小名浜店
平母店 金坂店
湯本店

内科 外科 金成医院 平市鎌田町 電八二六

TOEI★TOEI★TOEI 東映 月に笑え飛べつな映し涙腸美 市川崑 大傑門の股旅巨篇 若獅子大名 花まつり男道中 波風丘中徳東 見き野太千 島代 章と雅寺之 進子み晴伸介 6月12日 東映

子供の世界 風太郎画



珠算合格者

五級

鈴木光枝　新妻勝代　佐藤康子　長谷川敏子　長塚淳　石井明子　松崎良雄　鈴木驍一　丹治誠　内山洋子　鈴木フミ　高木トモ子　工藤明生　菅野好男　高野広一　鈴木陽子　渡辺美子　間瀬節子　高島佐智枝　大沼フミ子　片寄隆司　天川八重子　吉田洋子　下口健二　荒川久江　高力勝雄　佐藤昭

六級

新妻勝枝　市川芙美子　真倉のり子　長岡芳子　伊藤襄紀　先崎修　斎藤進　政井サト子　菅木佳代子　町井進　横田カツ子　鈴木ケイ子　遠藤カオル　草野治　斎藤賢三　斎藤信子　西館もよ子　大津隆子　小畑美恵子　滝洋一　宮田吉夫　小元武広　志藤允巳　櫛田孝夫　草野保郎　草野佐平　石塚サダ子　鈴木白文　佐藤秀雄　会田伊久子　箭内玲子　渡辺宏　阿部淳平　金沢秀幸　森田木村友三　菊地茂　落合晋　関玉枝　西山政子　松田悳美　加藤みつ　平田明子　渡辺純子　鈴木英友　窯谷京子　西山道子　中村美子　秋山洋子　加藤五六　佐川セイ子　大谷敏子　鵜沼永子　永瀬芳子　関根孝一　山口国雄　奈良輪和吉　遠藤秀男　矢萩一栄　長田友子　藤田恵子　大原和子　白崎幸子　野口久子　片寄東海子　岡田信代　本田袈男　加藤京子　松崎良雄　岩淵平八郎　草野武弘　内山洋子　菅井ミサ子　大森操　堀内正男　島貫信子　尾形正子　三浦福子　浜山憲治　塩浦憲一　森本重治　兼子定勝　菊地光子　中津美智子　井出由美子　伊藤サト子　橋本勝美　樋田昌之。

濃霧で入港遅れる

台湾船　税関商取引に注意

台湾から工業塩二千三百五十トンを積んで四日午後三時小名浜港に入港する予定であった中国貨物船フーミン号＝一九二五トン、葉慶発船長＝は三日横浜港で濃霧のため立往生、五日午後四時小名浜港に入港することになっている。

一方同船の入港を前にして横浜税関小名浜出張所は四日午前十時市内の青果物業者を集めて「同船の乗組員と大量の商取引をしないこと。もし税関に許可なく取引した場合は関税法違反になる」旨の警告を発した。フーミン号は昨年九月二十七日にも同港に寄港したがこの際乗組員の大半が税関の許可を得ずリンゴを積み込み多いものは二、三箱も買って行った。このように国内品を国外に持出しする場合は税関の許可をとらねばならず、同出張所ではフーミン号入港を前に次の四条件を厳守するよう申渡したもの。

▽リンゴは一人一箱以上売らないこと▽この場合船員の名前を必ず届き税関に届出る▽船員用品の場合は船から証文をとること▽船員からバインアップルバナナの売込みをうけても断るなお船員から物を買つた物合は関税法百十条、また売った場合は同法百十一条違反に問われると主として歴史的に検察側が主張した〝法令適用の誤り〟を反論した。

辯護團が反論

平事件控訴審公判

平事件控訴審の第三回公判がきのう四日仙台高裁で鎧倉裁判長係りで再開された。この日の公判には百五十三名の被告のうち鈴木光雄、西原新七、平子正孝松本佐吉、嶺起斎、斎藤華公の六被告が姿をみせただけで弁護団から自由法曹団の石島、竹沢大塚、林の四弁護人ら十一人が出延した。

定刻より二十分遅れて午前十時開延、冒頭弁護人側が『控訴趣意書によると検察側は一審の判決「四十名前後の人の集まりは多衆と認められない」を取上げ、法令適用の誤りだと指摘しているが、これはどんなことを意味するのか」と検察側に釈明を求めた、これに対して検察側は「多衆という言葉にあてはまらないという一審の判決は事実への『あてはめ』をまちがえたのだろう。結局法令適用を誤ったことになるわけだ。公判が進むにつれて事実が証明するだろう」旨を答弁、続いて午前中は石島、大塚弁護人が答弁書を陳述、大正時代の米騒動事件を取り上げ「国民生活が苦しくなつたとき大衆は貧弱な政治に反発する、血にぬられた大衆の声を騒乱罪という犯罪に結びつけるのはおかしい」と主張した。

お酒　一良久　平七五三五番

スライドで啓蒙

シロヒトリ絶滅へ

昨年平市内や石城郡下に発生した害虫「アメリカシロヒトリ」は横浜防ぇき所県出張所、県改良課、同農政課、県農事試験場病虫部、石城地方病害虫防除所などが総動員して呼ぐ滅に当った結果、かろうじてまん延を食い止めはしたがこととしも発生が予想され、関係者はスライドに繁殖、被害などの状況をおさめ、恐るべき害虫の認識を深め、防除の徹底を期することになつた。スライドは各市町村を巡回して防除の指導と一般の協力を要請するものだが、十七コマからなり被害の現場のなまの記録写真をはじめ幼虫と成虫などを見事にとらえている。

石城病害虫防除所の調べたところでは、卵は淡緑色で葉の裏裏一カ所に球状をなして産みつけ二卵塊が約六百から七百個くらい。卵からかえり成虫になると体長も十、十二ミリでハネをひろげると二十五、三十五ミリの白色で前ハネに褐色または黄色の斑点がある。

幼虫も老令になると葉の裏にクモの巣のような糸を吐き葉を捲いたり綴り合せて群棲し、網の目のように葉脈を殆して食い荒す。この虫は害虫のうちで最も貪欲性をおび、被害をうける樹木もサクラ、カキ、ヤナギ、プラタナス、シンジュ、アカシヤ、シデ、アラギリ、クワ、モミヂ、モチノキ、ポプラ、イチヨウ、クルミ、リンゴ、バラ、ヤツデイチヂク、フジなど手あたり次第に食い荒されている。発生期は六月はじめと九月の下旬の二回、薬剤も濃度のものでなければ効果がなく、昨月はDDT二〇%液四百倍をさん布したが老令期では百倍液でなければならない

中村さんの善行

貧しい産婦に愛の手

生活が貧しくて医科賃もだせない産婦に対しては無報酬でいたわっている助産婦の美しい行為が炭砿と農村の町遠野町で話題となつている。

美談の主は遠野町西町に助産婦を開業している中村房子さん(五二)で中村さんは戦前中国の大使館員であつた夫の忠五郎氏とともに戦後引揚げて来たが、夫は外務省に務めるため大学に通う長男や三人の子供たちと一緒に東京に残り、房子さんは中国に渡る前の昭和十一年開業以来住みなれた遠野町にもどつて来た。この間夫からは再三にわたつて引あげてこいとさいそくされたが、郷里への愛着をたち切れず貧しい人たちの相談相手となつて辺びな山合いの町にいまも頑張りつづけている。料金もとらずに進んで奉仕したことも

泉公民館の二月行事決る

磐城市泉公民館の二月中の青年学級日時科目が左の如く決つた。

▽7日体育＝スクエアーダンスはまゆうサークル、
▽8日理数＝珠算鹿山泰、
▽9日社会＝時事問題市議上坂昇、
▽11日農業＝今後の換金作物技師阿部昂一、
▽14日音楽＝青年歌集敎諭滝勝、
▽15日社会＝放送局の実体技師山本宗太郎、
▽16日理数＝珠算敎諭鹿山泰、
▽18日農業＝花のつくり方校長草野伝、
▽21日体育＝スクエアーダンスはまゆうサークル、
▽22日理数＝珠算敎諭鹿山泰、
▽23日レクリエーション＝室内ゲーム敎諭高崎敎正、
▽25日農業＝農事座談会技師国井久男、
▽28日音楽＝青年の歌集敎諭滝勝、

倘受講は午後六時から九時まで十五日の放送局の実体は平放送局を見学することになつている

二百名希望

平の市営住宅

平市会計課では三十一年度市営住宅五十四戸分の入居者の受付を三十一日で締切つたが、三百五十名で約六・五人に一戸の割となつた同課では本月二十日まで小野係員が戸別訪問し、入居希望者の実体調査を行う。それによってA、B Cの三断階にわけ、入居者選考委員会にかけ最終決定を行い抽選で決める。

併存住宅

渡辺組が請負

東北では初めてである店舗つき併存アパートの建築請負入札が二日常磐市役所で行われた結果一千五百二十万円で常磐市栄田株式会社渡辺組（社長渡辺長作氏）に落札した。この建物は常磐市湯本駅前本通りの品川白煉瓦の旧敷地百五十坪内に建設されるもの。一階が店舗八戸となり、二階三階がアパートの住宅で各八戸計十六戸となる。このうち半額は国庫補助で半額が市費負担となる。竣工期間は三月三十日までだがやゝおくれるのではないかと見られている。

この店舗と併せたアパート建築は前述の如く東北では初めてであり県としてもモデルケースでもあるので各方面からこれの完成が注目されている。

看護婦家政婦の御用命は：電三〇七番へ

平看護婦家政婦幹旋所

愈々

食肉の季節になりました　良品廉売の定評ある……

綠屋の牛豚肉を

本店　平市一丁目五三一番
支店　平駅前甲陽館隣り九四七番

労働大臣認可

御用命は：電三〇七番へ　平看護婦家政婦幹旋所

倘派出多忙＝看護婦・家政婦＝募集

今晩のラジオ

◆NHK（第一）
子供の時間　次郎物語　スポーツ便り　人さまざま　録音ニュース　素人即席演芸会　天晴れ風来坊　くいだおれ一代　ニュース解説　歌謡ドラマ　お笑い三人組　時の動き

◆ラジオ福島
トニーの童話　赤胴鈴之介　永遠に答えず　録音ニュース　人情夜話　お笑い街頭録音　日立劇場　バンビタンアワー　浪曲　夢のステージ　名作アルバム　夜の案内　夜の調べ

今晩の映画

▼平館　五日マデ　初場所大相撲前半戦　乱れ白菊　踊る魔天楼
▼民劇　五日マデ　星空の街　くもの巣城
▼東映劇場　五日マデ　恋染め浪人
▼世界館　五日マデ　民謡を訪ねて　スタヂオはてんやわんや

ラジオ月賦　三幸電気部　平三電506
現代青年の気質と恋の波紋を描く珠玉の青春明朗篇！
婚約指輪（エンゲージリング）
東宝ダイヤモンドシリーズ第三弾
石原慎太郎…原作脚本主演
石原慎太郎　宝田明
青山京子　白川由美
6日東宝11日12日　民劇

断然うまい
ヤマフル最上醤油
ヤマフル栄養味噌
電10番へ　塩屋

ダイヤモンド毛糸
春色全色揃いました
半ポンド800円
ハシモトヤ糸店
平市磐城街　TEL16